

報道機関各位

## 令和4年度県北地域の茨城県銘柄産地指定証交付式を開催します

～奥久慈(常陸大宮市、大子町、常陸太田市)の切り枝を再指定しました～

茨城県では、品質・組織体制・産地規模等について一定の要件を満たした青果物産地・花き産地を、それぞれ「茨城県青果物銘柄産地」・「茨城県花き銘柄産地」として指定しています。(有効期間3年間)※

今般、県北地域において、奥久慈(常陸大宮市、大子町、常陸太田市)の切り枝を花き銘柄産地として再指定しましたので、下記のとおり交付式を開催いたします。

つきましては、当交付式について取材いただきたく、ご案内申し上げます。

### 【交付式日時】

令和4年8月30日(火) 午前9時から

産地の区域	対象花きの種類	出荷組織
奥久慈 (常陸大宮市、大子町、常陸太田市)	切り枝	常陸農業協同組合 奥久慈枝物部会

### 【交付場所】

茨城県常陸大宮合同庁舎 会議室 (常陸大宮市野中町3083-2)

### 【主な参集者】

鈴木 定幸(すずき さだゆき) 常陸大宮市長、高梨 哲彦(たかなし てつひこ) 大子町長、宮田 達夫(みやた たつお) 常陸太田市長、秋山 豊(あきやま ゆたか) J A常陸組合長、生産者代表、関係者他

### 【指定産地概要】 一里山から都市部へ 季節を告げる産地

- 地域農業が衰退する中、定年帰農者でも育てやすい「枝物」に注目し、平成17年に生産部会を組織(スタート時：9戸)し、耕作放棄地や遊休農地の解消に取り組みながら「枝物」産地化を目指してきました。花桃を中心に250種類以上もの枝物を生産し、都市部などに四季を告げる産地として通年出荷しています。品質に加え、扱う種類も豊富なことから、令和元年7月に切り枝としては県内初の県銘柄産地に指定されました。
- 主力品目の花桃は、最新の設備が整った専用の共同促成室を利用して開花を揃えて出荷しているため、品質が大変高く、ブランド品目「奥久慈の花桃」として全量契約出荷を行っております。
- 高齢化が進む中で、令和4年には、生産部会内に若手の生産者グループ「YF部」(ヤングファーマー部)を設け、有望品目や栽培方法の研修会を開催しています。
- 令和4年6月には、生産部会のスローガン「心が伝わる産地を目指して」のもと、ウクライナ人道支援活動として、60種類、5千本余りを出荷し、販売金を寄付しました。
- 令和3年においては、常陸農業協同組合奥久慈枝物部会 136戸の生産者が、作付面積68.4ha、販売金額1.7億円、164万本を出荷しました。



※令和4年8月1日現在の指定状況：県北地域 青果物1産地(県全体60産地)、花き1産地(同7産地)

「Thank You! いばらき農業」

### 【問合せ先】

茨城県県北農林事務所 担当：堤、住谷  
TEL：0294-80-3303 FAX：0294-80-3304  
E-mail：hokunourin02@pref.ibaraki.lg.jp